

監督プロフィール

企画・監督



GASPARD KUENTZ

ガスパール・クエンツ

1981年パリ生まれ、現在長野在住。
高校時代に1年間日本映画上映会に通いつめ、日本映画に開眼。

フランス国立東洋言語文化研究院を卒業後、2003年に来日。
映画美学校を卒業後は、日本、インドやインドネシアを舞台にドキュメンタリーを制作、各国の映画祭で上映されている。

東京の実験ミュージシャンを追う『We Don't Care About Music Anyway...』
(ポーランドERA NEW HORIZONS国際映画祭2010年、ベスト・フィルム・オン・アート受賞)を監督した後、九州の夜神楽をはじめ日本中の祭りを取材し始める。
近年、日本から視野を広げ、アジア中の信仰及び祭を専門にし、2014年に北インド・ビハール州のソネプール大祭をテーマに『Kings of the Wind & Electric Queens』を監督し、カナダのHot Docsドキュメンタリー国際映画祭にて中編グランプリを受賞する。

二ヶ月に一度開催される『稲妻は万物の舵を取る』のトークイベントシリーズに、東京国際映画祭アジア部門ディレクター・石坂健治氏、映画評論家・上野昂志氏と参加している。

フィルモグラフィ

中・長編ドキュメンタリー

『Kings of the Wind & Electric Queens』

HD/56'/2014年

セトリック・デュピールと共同監督

Hot Docsドキュメンタリー国際映画祭2014年 (トロント・カナダ)
中編グランプリを受賞

『We Don't Care About Music Anyway...』

HD/80'/2009年

セトリック・デュピールと共同監督

Era New Horizons国際映画祭2010年 (グロツワフ・ポーランド)
Best Documentary on Art賞を受賞
Traces de Vieドキュメンタリー映画祭2010年 (クレルモン = フェラン・フランス)
Creative賞を受賞
Entrevues Belfort国際映画祭2009年 (ベルフォール・フランス)
One + One賞を受賞

短編映画

『チンピラ is beautiful』

オムニバス「839239」足立区編/DV/6'30"/2006年